



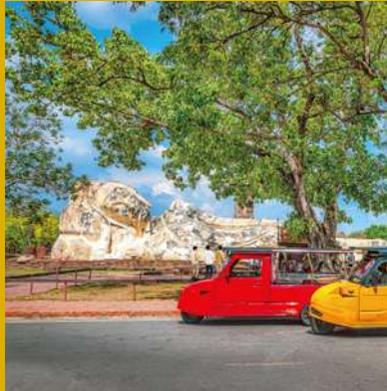
タイ国政府観光庁

- バンコク(ヘッドオフィス1階・インフォメーションカウンター) 毎日8:30~16:30
1600 New Phetchaburi Rd., Makkasan, Ratchathewi, Bangkok 10400
TEL:02-250-5500 ✉enter@tat.or.th TATコールセンター 局番なし(24時間対応) 1672
- スワンナプーム国際空港(インフォメーションカウンター) 毎日24時間
到着階(2階)③番付近
TEL:021-340-040
- タイ国政府観光庁アユタヤオフィス
108/22 Mu 4, Tambon Phratuchai, Amphoe Phra Nakhon Si Ayutthaya,
Phra Nakhon Si Ayutthaya, 13000
TEL:035-246-076~7
f www.facebook.com/TAT.Ayutthaya



アユタヤ

Ayutthaya



ワット・ロカヤスターラム

- 東京事務所
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館2階
TEL (03)3218-0355 FAX (03)3218-0655 info@tattky.com
- 大阪事務所
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-4-26 四ツ橋グランドビル
TEL (06)6543-6654,6655 FAX (06)6543-6660 info@tatosa.com
- 福岡事務所
〒812-0027 福岡市博多区下川端町2-1 博多リバレインイーストサイト11階
TEL (092)260-9308 FAX (092)260-8181 info@tatfuk.com

詳しくは「タイ国政府観光庁」を検索

(日本語)
www.thailandtravel.or.jp
(英語)
www.tourismthailand.org



ソーシャルメディアでタイの魅力を発信中



栄華を極めた水の都
世界遺産の街

Ayutthaya

アユタヤ

バンコクから北へ約76km、タイ国民の重要な水路・チャオプラヤー川が悠々と流れ、世界遺産の街としてその名を馳せる古都・アユタヤは、水路に囲まれた水の都。1350年にウートン王が建都し、その後417年間33代にわたる国王に統治され、豊かで華やかな文化を育んだアユタヤ王朝の首都です。

アユタヤは東南アジアで最も栄華を極めた都市の一つであり、点在する荘厳な寺院や宮殿、パビリオンが当時の栄華を今に伝えています。南には広々とした庭園を持つバンパイン宮殿がほぼ当時のまま保存され、現在も王族によって使用されています。

のどかな田園、水上マーケットで出会う素朴で活気ある人々の微笑み、朝霧の中や夕刻にライトアップされる遺跡の数々。歩みを進めるたびに、美しい光景が心に染み入ってきます。

アクセス

列車

タイ国鉄の北部線、東北線が利用できます。バンコクのアランボン駅とクルンテープ・アピワット中央駅から合わせて毎日約38本が運行しています。片道1人61～511B(2等座席指定)。所要時間は約1時間～1時間半。タイ国鉄(SRT) ホットライン 1690
チケットオンラインサイト
dtket.railway.co.th

ロットゥー(9人乗りバン)

北バスターミナル(モーチャット)前のミニバス・ステーション(チャトゥチャック)からアユタヤ行きのバンが運行(所要時間約1時間～)。営業時間は3:00～22:00。

※2024年9月現在、大型バスは運行していません。



CONTENTS

1～2P	イントロ、アクセス
3～4P	10のキーワード
5P	アユタヤの歴史
6～9P	アユタヤ歴史公園(中心部)
10～12P	アユタヤ歴史公園(周辺部)
13～14P	バンパイン宮殿
15P	日本人村
16P	工芸・手芸&博物館
17P	マーケット
18P	グルメ
19～20P	バンコクから行く鉄道の旅
21～22P	アユタヤ旅行モデルコース
23～24P	アクティビティ
25～26P	イベント&フェスティバル
27～28P	アユタヤ市街地図
29P	旅の基礎知識
30P	いざというときに

巻末マップ

世界遺産の街 アユタヤを 深く巡る



10のキーワード

1 歴史と文化

4世紀にわたり33代の王と王朝が築き上げた国際都市アユタヤの歴史を学びましょう。

▶P5・P17-18

2 アユタヤ 歴史公園巡り

1991年ユネスコ世界文化遺産に登録されたアユタヤ王朝の遺跡群。クメールやスリランカ様式などの仏塔や戦争で破壊された昔のままの姿を現すお堂などがあります。タイ最古の壁画や天井画のある寺院の様子に注目してください。

▶P6-9(中心部)・P10-12(周辺部)

3 バンパイン宮殿

アユタヤ王朝の栄華を感じることができる、職人の技が結集した宮殿建築美。歴代王の離宮を訪れてみましょう。

▶P13-14

4 日本人村

水運によって繁栄したかつてのアユタヤには、3000人も日本人が住んでいました。日本とタイの繋がりを感じられるスポットです。

▶P15



5 博物館・美術館

アユタヤ王朝の時代から受け継がれてきた貴重な資料や物品。映像やアートに触れてアユタヤの古を感じましょう。

▶P9・P16

6 昔ながらのマーケット

豊かな水運に恵まれたアユタヤで発展した市場。昔ながらの生活文化が残る市場散策で人々の活気に触れることができます。

▶P17

10 フェスティバルやイベント

ムエタイ選手が集結するフェスティバルやアユタヤの世界遺産にちなんだ祭りなど、アユタヤならではのイベントにぜひ参加してみませんか。

▶P25-26

9 アクティビティ

遺跡を眺めながら、エレファントライディングやサイクリングを。アユタヤの伝統衣装を着て遺跡で撮影するのもおすすめです。ゴルフ場やウェルネス施設なども充実しています。

▶P23-24

8 鉄道の旅とモデルコース

バンコクから約1時間で行ける鉄道の旅。日帰りのほか、1泊2日の旅も自身の最適なコースの参考にしてください。

▶P19-20

7 アユタヤグルメ

アユタヤ名物「手長海老のグリル」や「クイッティアオ・ルア(ポートヌードル)」、アユタヤスイーツの「ローティー・サーイマイ」など、ここだけの絶品を味わいましょう。

▶P18

次のページから1~10をより詳しく紹介しています。

アユタヤの歴史

History

33人の王と王朝が築き上げた 華麗な国際都市、アユタヤ

ウートン王によって1350年に開かれたアユタヤ王朝の首都アユタヤ(プラ・ナコーン・シー・アユタヤ)は、その後417年にわたり、33代の王といくつかの王朝が統治しました。チャオプラヤー川沿いの水路に恵まれたこの都市は、東南アジア各地の文化を融合しながら繁栄を続け、特にタイ文化の華麗さとクメール文化の重厚さを併せ持つ美しい都市として完成しました。

17世紀初頭には近隣アジア諸国だけでなく、イギリス、ポルトガル、オランダ、スペインといった西欧諸国との交易を盛んに行い、国際貿易都市として世界にその名を轟かせました。交易に従事する各国の商人が多数居住する大都市であり、ギリシャ人やベルシヤ人が大臣として登用されるなど多民族社会でした。日本との交流を伝える史跡も多く残されています。また、タイ近代国家の基礎となる中央集権政治を確立するなど、タイ国の歴史に大きな功績を残した王朝といえます。

半面、王位継承争いやビルマ(現ミャンマー)軍の侵攻が重なり、都市は決して平穏な時ばかりではありませんでした。やがて1767年、ビルマ軍からの激しい攻撃に耐えられず、アユタヤ王朝はその歴史に幕を下ろします。戦いをくぐり抜けた寺院、宮殿、敵軍の侵攻を生々しく伝える破壊された仏像などが、都市の栄華と失墜を現代に静かに語り掛けてきます。

1991年12月13日、ユネスコ世界文化遺産に指定されたこの都市は、タイの歴史を物語る上で決して欠かすことのできない、重要なスポットです。

日タイ修好関係と 交流の歴史

タイ国政府観光庁公式マスコットキャラクター
「ハッピーちゃん」

1887年9月26日に日本とタイ(当時はシヤム)が修好宣言の調印を結んでから130年以上が経ちます。日タイ関係の歴史においては、琉球王国とアユタヤ王朝との交易以来600年にわたる交流の歴史があります。

タイの主な歴史年表 ※()は仏暦

タイの主な王朝	その頃の日本史
7~8世紀 先住民の中でモン族のドヴァーラヴァディー人がチャオプラヤー川流域に王国を形成	奈良時代 710年~ 平安時代 794年~
11~12世紀 中国南東部から南下したタイ族が小国家を形成	鎌倉時代 1185年頃
スコータイ王朝 1240年頃~1438年 (1783年頃~1981年) タイ族初の統一国家が成立 タイ文字の制定や上座部仏教が国教となる	室町時代 1338年~ ●1338年: 足利尊氏が征夷大将軍となる
アユタヤ王朝 1350年~1767年 (1893年~2310年) アユタヤに都を移し、スコータイ王朝を滅ぼす	●1368年: 足利義満が3代将軍となる ●1397年: 金閣寺建立 ●1467~1477年: 応仁の乱 ●1560年: 桶狭間の戦い 安土桃山時代 ●1590年: 豊臣秀吉、天下統一 ●1600年: 関ヶ原の戦い 江戸時代 ●1702年: 赤穂浪士、討ち入り
●1767(2310)年: ビルマに敗北	
トンブリー王朝 1767年~1782年 (2310年~2325年)	●1772年: 田沼意次が老中になる
●1767(2310)年: アユタヤを奪還し、トンブリーを新たに王都へ	●1783年: 天明の大飢饉
チャクリー王朝 1782年~現在 (2325年~現在)	●1823年: シーボルトが長崎へ
●1782(2325)年: ラーマ1世即位。王都をバンコクに移す	●1853年: ペリーが浦賀に来航 ●1854年: 日米和親条約 ●1860年: 桜田門外の変 ●1863年: 新撰組の結成 ●1867年: 大政奉還
●1826(2369)年: イギリスとバーネイ条約締結	明治時代 ●1889年: 大日本帝国憲法発布 ●1894年: 日清戦争 ●1904年: 日露戦争
●1832(2375)年: アメリカと通商条約締結	大正時代 ●1914年: 第一次世界大戦 ●1923年: 関東大震災
●1872(2415)年: 英語学校の開校	昭和時代 ●1937年: 日中戦争 ●1940年: 日独伊三国軍事同盟 ●1941年: 第二次世界大戦
●1887(2430)年: 陸軍士官学校の開校	
●1906(2449)年: 海軍士官学校の開校	
●1932(2475)年: 絶対王政から民主主義体制へ移行	
●1939(2482)年: 呼び方をサイアム(シヤム)国からタイ国に改める	



夕闇に幻想的なスリランカ様式のチェディ3人の王が眠る王宮建物

ワット・プラシーサンペット 01

Wat Pra Srisanpet

初代ウートン王(ラーマティボディ1世)時代の宮殿跡に、1491年ポロムトライロツカナート王が造らせた王室専用寺院。1500年にラーマティボディ2世が造った高さ16m、171kgもの黄金の仏像も1767年ビルマ軍の侵攻で寺院もろとも破壊されました。現在は、3人の王の遺骨を納めたスリランカ様式のチェディと呼ばれる苔むした仏塔がわずかに3基残るのみですが、バンコクのエメラルド寺院同様、最も重要な王宮建物の一つです。日没後はライトアップされ幻想的な雰囲気になります。

料50B

開8:00~18:00 無休 MAP E-6



CHECK 幻想的な美しさ 遺跡ライトアップ

アユタヤの夜の顔もぜひ。遺跡のいくつかは日没後ライトアップされ、その幻想的な美しさは必見です。

●ライトアップ19:00~21:00

アユタヤ歴史公園事務所

TEL 035-242-284
035-242-286

※寺院・施設の入場時間は予告なしに変更になる場合があります。



歴代のアユタヤ王が過ごした
広大な敷地に残る王宮の跡

王宮跡

The Grand Palace

1351年に初代ウートン王が建てたアユタヤ王朝初の王宮は、木造で現在のワット・プラシーサンペットの場所にありました。その後、歴代の王が使用しましたが、1448年に8代目トライロツカナート王がサンペット宮殿を建設し、現在の位置であるワット・プラシーサンペットの北隣に移転しました。王宮のほとんどはビルマ軍によって破壊され、宮殿や城壁の一部の遺跡を残すのみです。

料50B

開8:00~18:00 MAP E-6

CHECK

※ワット・プラシーサンペット、王宮跡、ワット・プララム、ワット・マハタート、ワット・ラチャプラ、ワット・チャイワッタナラム、ワット・マヘーヨンは20Bの通し券(30日間有効)があります。

マークの説明

- 共通券
- ライトアップ
- 壁画・天井画
- 湿釈遺像
- 記念碑
- 宮殿
- 博物館
- 外国人村
- マーケット
- 工芸品
- 象との触れ合い

アユタヤ歴史公園(中心部) Ayutthaya Historical Park

アユタヤの中心部に広がる、アユタヤ王朝の遺跡群。1991年、周辺の遺跡とともにユネスコ世界文化遺産に登録されました。ライトアップされる夜の美しさは格別です。少し離れた川を渡った周辺部では、水の都アユタヤらしい美しい景色も魅力の一つです。



タイ最大の巨大黄金仏像を祀り
世界各国からの参拝客が集まる仏塔

ウィハーン・ プラモンコンボピット 02

Viharn Phra Mongkhon Bophit

1603年にラーマティボディ2世が造ったタイ最大の高さ17mのブロンズ製仏像を安置した塔堂。アユタヤ2度目の陥落の際にビルマ軍に破壊されました。1951年の修理時に仏像の体内から何百体の小さな仏像が発見されています。本堂(ウィハーン)の北東にある開放的な場所は以前、サナム・ナチャワットと呼ばれ、王族の火葬が行われる場所でした。現在、アユタヤの中心地で最も参拝者が多く、周辺には土産物、ろうそく、花などを売る屋台でにぎわっています。

開8:00~16:30 無休 MAP 1E-7



巨大な塔堂と4基の仏塔がそびえる
初代ウートン王の菩提寺

ワット・プララーム 03

Wat Phra Ram

アユタヤのほぼ中央に位置する、初代ウートン王の菩提寺。アユタヤ王朝時代に幾度か改修工事が行われていますが、1767年のビルマ軍侵攻で破壊され、現在は巨大な塔堂と4基の仏塔、朽ちた石像が残るのみです。1970年、北側広場にウートン王のブロンズ像が建てられました。寺の前の大きな池とその周辺はプララーム公園と呼ばれています。

料50B

開8:30~17:00 無休 MAP 1E-7



木の根に抱かれた仏頭が眠る
ビルマ軍侵攻を今に伝える寺院

ワット・マハタート 04

Wat Mahathat

2代目ラーメスアン王(1369~70)が建てたという説とポロム・ラーチャティラート1世(1370~88)が建てたという説がある、13世紀の重要な寺院の一つ。仏舎利が納められています。かつては黄金に輝いていた寺院もビルマ侵攻で廃墟に。木の根の間に埋まった仏頭、頭部を切り落とされた仏像、崩れ落ちた礼拝堂の土台が残っています。1956年の修復時に宝物が発見され、チャオサムブラヤー国立博物館に展示されています。

料50B

開8:00~18:00 無休 MAP 1G-6



王位継承争いに果てた王族の
鎮魂を願った寺院

ワット・ラチャブラナ 05

Wat Rajaburana

1424年、8代目の王が、王位継承争いで死んだ2人の兄のために建立した寺院。バタン橋の近く、ワット・マハタートの反対側に位置します。1958年の修復時に多くの宝物が発掘され、それらはチャオサムブラヤー国立博物館に展示されています。

料50B

開8:00~18:00 無休 MAP 1G-6



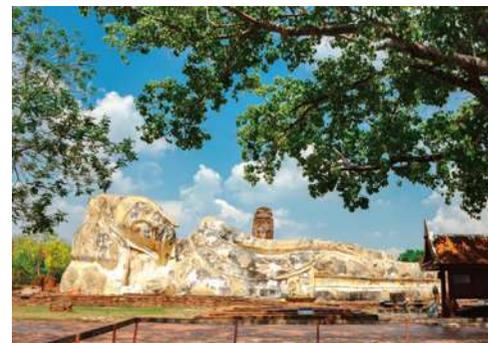
勇敢な王妃スリヨータイの遺骨が眠る
黄金に光り輝く仏塔

チェディ・シー・スリヨータイ 06

Queen Suriyothai's Chedi

「白象王」の異名を持つ17代チャクラバット王の妃スリヨータイの遺骨を納めた、黄金に輝く仏塔。スリヨータイは1549年のビルマ軍との戦いに男装して象にまたがり参戦、身を挺して夫を守ったとされます。身代わりになって殺された妃を称えるために、戦後、王が建てた美しい寺院。展示室には今もスリヨータイの遺骨が眠っています。

MAP 1B-7



穏やかな表情に心も和む
全長28mの白く巨大な寝釈迦像

ワット・ロカヤスターラーム 07

Wat Lokaya Sutharam

アユタヤの西部、クン・ペーン・ハウスの北側に茂る広大な草原に悠然と横たわる高さ5m、全長28mの巨大寝釈迦像。1956年に復元され、80歳で入滅した仏陀を表現しています。周囲には寺院も本堂もなく、自然に溶け込むように長い手足をゆつたりと伸ばして静かなまなざしを向ける仏像。アユタヤの栄枯盛衰と人々を見つめ続けてきたかのような、穏やかな表情と人間味あふれる姿に心が癒されます。

料無料

開8:30~16:30 無休 MAP 1C-7



古典文学作品をもとに再現
アユタヤ王朝時代の人々が甦る

クン・ペーン・ハウス 08

Khun Paen House

アユタヤが栄華を極めていた頃の民家を復元した資料館で、高床式のアユタヤ時代様式の建物です。1人の女性をめぐって幼なじみの2人が駆け引きを繰り返すという、ラーマ2世時代に描かれたタイの有名な叙事物語「クンチャンとクンペーン」の描写を参考に再現されています。かつての栄光の時代の暮らしぶりを垣間見ることができます。

料無料

開8:30~16:30 無休 MAP 1E-7



華やかな壁画に息をのむ
現チャクリー王室御用達の王室寺院

ワット・スワンダララム 09

Wat Suwan Dararam

本堂を囲むように描かれた、仏陀の仏に至る道、英雄ナレスワン大王の生涯。ラーマ4世時代の彩り美しいフレスコ画の壁画が印象的な寺院です。繊細な彫刻を施した柱も当時の典型的な建築様式とされます。現チャクリー王朝初代ラーマ1世の父が建立した寺院ですが、修復された後、チャクリー王朝の王室寺院として使用されています。

開9:00~17:00 無休 MAP 11-9



ワット・マハタートと
ワット・ラチャプラナの宝物を展示

チャオサムプラーヤ国立博物館 10

Chao Sam Phraya National Museum

1956~57年、政府の発掘調査でワット・マハタートとワット・ラチャプラナから発見された黄金の仏像、木彫りの扉、仏像など多数を展示する貴重な資料館です。

料150B

開9:00~16:00 無休 MAP 11E-8



資料3000冊。アユタヤの歴史
日タイ修好の歴史を細やかに紹介

アユタヤ歴史研究センター 11

Ayutthaya Historical Study Centre

日タイ修好100周年を記念して日本政府の無償資金協力を得て約10億円で1990年に設立。復元模型や映像を使ったアユタヤの歴史紹介など、タイの文化を分かりやすく展示しています。併設の図書館には歴史資料が約3000冊収蔵されています。さらに日タイ修好120周年を記念して2007年に別館(P15参照)の改修が行われました。日本とタイの600年以上にわたる交流の歴史が刻まれた年表は必見です。(2024年9月現在閉館中)

MAP 11G-8



ナレスワン大王のために建てられた
歴代皇太子の公邸に

チャンカセム国立博物館 12

Chantrakasem National Museum

1577年、19代マハタチャ王が息子ナレスワン王に建てた歴代皇太子の公邸でしたが、ビルマ軍の侵攻で焼失しました。後にラーマ4世が修復し、夏の離宮、市役所にも利用されていましたが、現在は博物館になっています。

料100B

開9:00~16:00 休月・火曜、祝日 MAP 11H-4



川面に映る姿も格別
森に建つ美しい寺院

ワット・チャイワッタナラム 18

Wat Chai Wattanaram

アユタヤ市西部の川岸に位置する、プラサート・トーン王建立の寺院。中央の祠堂と仏塔の保存状態が非常に良く、高い堀に囲まれていないこともあり、緑地の中に建つ美しい姿に定評があります。アユタヤ遺跡群の中でも川に面したものは限られていることもあり、ライトアップは特に美しく必見です。

料50B

開8:00~18:00 無休 MAP 11A-9



80体の象が基壇を囲む
スリランカ様式の寺院

ワット・マヘーヨン 14

Wat Mahaeyong

1438年、チャオサムプラーヤ王によって建立されたとされる寺院。鐘形の塔や、80体の象が基壇を囲む仏塔「チェディ・チャー・ローム」など、スコタイやシーサッチャナーライにも広く見られるスリランカ様式が取り入れられています。タイサ王が3年間かけて大規模な修復を終了させた1713年には、建設工事の視察ができるようにと、近くに宮殿も建てられました。

料50B

開8:00~17:00頃 無休 MAP 11L-5



ウートン王が建てた寺院
仏座像が囲む高さ72mの塔は圧巻

ワット・ヤイチャイモンコン 15

Wat Yai Chai Mongkon

1357年、初代ウートン王がセイロン(現スリランカ)に留学中の修行僧たちの瞑想(めいそう)のために建てた寺院。遠くからでもひときわ目立つ高さ72mの仏塔は、1592年に19代ナレスワン王が家に乗り一騎打ちでビルマの王子を敗りビルマ軍に勝利した記念の塔で、ビルマ軍が建てたプーカオトーンの仏塔に対抗して建てられました。塔の周囲をぐるりと囲む、鮮やかな黄色の衣をまとった数十体の仏座像のほか、寝釈迦像も必見です。

料20B

開8:00~17:00 休祝日

MAP 11L-9



13世紀から残る貴重な寺院
高さ5mの王衣まとう仏像を安置

ワット・ナープラメン 13

Wat Na Phra Men

ビルマ軍の破壊から逃れた13世紀の貴重な寺院。入り口にはガルーダにまたがり威風堂々と立つヴィシュヌ神のレリーフが当時のままの姿で残っていますが、寺院全体は15世紀、ラーマ4世時代に修復されました。本堂にはアユタヤ最大規模、高さ5mの巨大な仏像が王衣をまとうて鎮座しています。本堂右手にある小さな礼拝堂は1838年に建てられ、ナコーンパノムから請来したドヴァラヴァティ様式の深い緑色の仏像が祀られています。

📍20B 開8:00~18:00 無休 MAP 1E-4



人気ドラマにも出てくる
菩提樹が囲む「時の扉」

ワット・プラガーム 42

Wat Phra Ngam

菩提樹に浸食されたアーチ型の門は「時の扉」と呼ばれ、タイ人気ドラマでも使用されたことで広く知られています。現在寺院としては機能しておらず、アーチ型の門と門から続く道の先にたたずむ八角形の仏塔、そして外壁や建造物の基礎部分等が残っています。

📍9:00~17:00 休祝日 MAP 1D-3



高さ80mから街を一望
黄金に輝く仏塔寺院

ワット・プーカオトーン 16

Wat Phu Khao Thong

高さはなんと80m、1569年にビルマのバイナウン王がアユタヤ占領を機に建てた寺院です。当初はビルマ様式でしたが、その後アユタヤ王朝を再興したナレスワン大王がタイ様式に改修。現在の塔は1754年に建造されました。1956年に仏暦25世紀を祝い頂上に2.5kgの黄金が付けられたことから「黄金の仏塔寺院」と呼ばれています。仏塔は階段で上ることができ、頂上からアユタヤの街を一望してみたいか。

📍無料 開8:00~17:00 MAP 1B-3

MEMO

アユタヤ様式の仏様

14世紀後半から作られたアユタヤ様式の仏像は立像が多く、荘厳で重厚なデザイン。初期は顔が四角く、後期から卵型に変わりました。厳しい表情、額の冠との境界線も特徴。石像に代わりブロンズ製も出現しました。



戦火をくぐり抜けた縁起のよい寺
高さ19mの黄金仏を安置

ワット・パナンチューン 17

Wat Phanan Choeng

アユタヤが首都になる26年前、1324年に建立。繰り返されたビルマ軍の攻撃から奇跡的に残った縁起のよい寺として、人々の厚い信仰を集めています。中国風の装飾で飾られた堂内に、本尊である高さ19mの黄金仏の座像が安置されています。タイ様式の寺院とはまた違う魅力が感じられます。

📍20B 開8:00~17:00 無休 MAP 1I-10



ウートン王の像を祀り
トモロコシ形塔堂が目印

ワット・プットタイサワン 19

Wat Phutthai Sawan

アユタヤ島外の南側に建つ寺院。初代ウートン王は、島内で都を構えるまで、ここを宮殿として3年間暮らし、即位後修復して現在の寺院にしたと伝えられます。シンボルの白いトモロコシ形の塔堂(プラン)は、アユタヤ初期にクメール様式で建てられましたが、1898年に現在の姿に改築。その正面にはウートン王の神像が祀られています。境内西側には、僧侶が住む「僧域」があり、アユタヤ後期の歴代王や高僧ソムデット・プラブッタ・コーサーチャーンが住んでいました。

📍8:00~16:30 休祝日 ☎035-246-076 MAP 1E-11



アユタヤ王が象を選び
王室の象使いがいた象の館

ロイヤル・エレファントクラール & パビリオン 20

Royal Elephant Kraal & Pavilion

アユタヤ時代、特に王室関係者の移動手段や隣国との抗争時に象は重要な役割を果たしました。エレファントクラールのチーク木材の囲いの中には象が集められ、中央のパー・カムルアン聖所には象使いがいました。ロイヤルパビリオンは、国家行事の象を選ぶために国王が使用していました。

MAP 1I-3



ちょっと足を延ばして…

幻想的でフォトジェニックな
紫の寺院

ワット・クランクローン・ワッタナラーム 43

Wat Klang Khlong Wattanaram

1885年に建設が始まり、1902年に仏教寺院として認可されました。内装が紫色で有名な礼拝堂(ウボソット)は2012年に建てられた比較的新しい建造物で「紫の寺院」として注目されています。

MAP 2C-6



バンパイン宮殿

Bang Pa-in Palace

チャオプラヤー川に浮かぶバンパイン島に、アユタヤ王朝第24代ブラサート・トーン王(1629-1656)が築いた宮殿。現王朝のラーマ4世(モンクット王)と5世(チュラロンコーン王)が再建しました。タイ様式のほか、西洋様式や中国様式など多彩で優雅な建築物が多く、必見。現在も国王の住居およびレセプション会場として使われています。

料 100B ※王宮のチケット半券で入場可
開 8:00~16:00(チケット販売は15:30まで) 無休

バンパイン宮殿で世界の建築様式を巡る

タイ様式建築



湖の中央でラーマ5世像を抱く
アイサワン・ティッパヤー・パビリオン 22

Aisawan Thipphaya-at Pavilion

湖の真ん中に立つこの華やかなパビリオンは、バンパインに数ある荘厳なタイ様式建築例の中でも、傑出した一つ。4つのポーチとつながった屋根が、王宮のプラ・ティナン・アポンピモックとよく似ています。中央部分にはラーマ5世の等身大像が納められています。MAP 3C-7

ギリシャ様式建築



美しい国王謁見の間
ワロパット・ピマン玉座ホール 23

Warophat Phiman Throne Hall

1876年建造。ギリシャ柱が支える切妻造り(山形状屋根)などネオクラシックな風合いは、古代ギリシャのコロントス建築の強い影響が見受けられます。グランドホールにマハ・サウエッタチャート玉座が納まり、宮殿内でも重要な建物の一つ。国王が避暑に訪れると謁見の間として使われます。MAP 3B-7

ギリシャ様式建築



迎えるのはギリシャ神話の神々
彫刻のある橋 24

Doll Bridge

湖に架かるワロパット・ピマン玉座に続くネオクラシック調の橋にもギリシャ建築の影響が色濃く残っています。雰囲気は、まるでヨーロッパ。手すり部分に、ギリシャ神話の神や女神をモチーフにした彫刻が並びます。

MAP 3B-8



カートを利用

園内移動用のカートが用意されています。1台(4名まで乗車

可能)・1時間500B。2時間以降は1時間ごとに100B追加。運転免許証の提示が必要。



宮殿全景を見渡すポイント
クラチョム・トレー・パビリオン 25

Krachom Trae Pavilion

川岸に立つトランベック型のパビリオン。ここまで散策して振り返ると、湖に立つアイサワン・ティッパヤー・パビリオン、テワラート・カンライ門、ワロパット・ピマン玉座ホールを含むバンパイン宮殿の全景を見渡すことができます。写真撮影に最適なポイントです。MAP 3C-8

中国様式建築

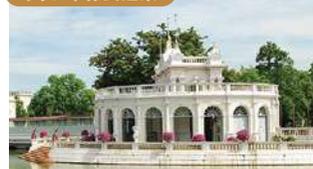


中国資材による中国風宮殿
ウィハット・チャムルン宮殿 28

Wehat Chamrun Royal Mansion

敷地内に多く見られるヨーロッパ風建築物とは対照的な中国様式。1889年にルアン・チョードベック・ラチャセディー率いる華僑の商社グループの出資で建てられました。中国風屋根と色鮮やかな赤と金色の組み合わせが印象的。家具や食器、食器棚、玉座など全て中国の資材。当時の中国の強い影響力がうかがえます。MAP 3D-4

ギリシャ様式建築



古代ギリシャ式宮殿への門
テワラート・カンライ門 26

Thewarat Khanlai Gate

内部の宮殿へと導くこの門もまた、コロントス式ネオクラシックの影響を受けたデザインが特徴です。この門からワロパット・ピマン玉座ホールにつながるの「サバン・バン・クレット」と呼ばれる橋。鏝張りの壁から延びており、ここからのみ宮殿から外を見ることができます。MAP 3C-7

スイス様式建築

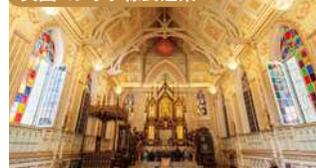


ラーマ5世も愛したスイス風
ウッタヤン・プミサティアン宮殿 27

Utthayan Phumisathian Royal Mansion

スイスのシャレー様式で建てられた、すっきりとした西洋スタイルの宮殿は、ラーマ5世のお気に入りだったといわれます。しかしオリジナルは1938年に火事で焼失。現王朝のラーマ9世(プミポン国王)が同じ場所に原形のまま再建し、ナポレオン3世時代のヨーロッパ様式家具を飾りました。MAP 3C-6

英国ゴシック様式建築



まるで教会のような仏教寺院
ワット・ニウエート・タンマプラワット 30

Wat Niwet Thammapravat

英国ゴシック教会様式で1878年に造られた特徴的な王室寺院。中でもラーマ5世のステンドグラス肖像画は、一番の見どころといえます。寺院はそのまま仏教の活動に使われています。MAP 3A-11



宮殿を眺める展望台
ワイトウンタッサナーの塔 29

Withunthatsana Tower

1881年、ラーマ5世統治時代に建てられたポルトガル様式の見張り棟。黄色と赤の色鮮やかなデザインが目印で、遠くからも目を引きます。最上階の3階からは緑豊かなバンパイン宮殿全体を見晴らせ、眺望に最適なスポットです。MAP 3D-5



国王の歌も刻まれた追悼碑
スナンタークマリラット王妃、サオワパークナリラット王女と3人の王族の子どもの碑 31

Memorial to Queen Sunandakumariratana, Princess Saovabharik Nariratana and Three Royal Children

1880年にチャオプラヤー川で船舶事故により溺死したスナンタークマリラット王妃を追悼し、ラーマ5世が建立。王が詠んだタイ語と英語の哀悼歌が大理石碑に刻まれています。隣接するラーチャーヌゾーン碑は、国王の妃だったサオワパークナリラット王女を追悼し1887年に建立。王族の3人の子どもの大理石像もあります。MAP 3D-7、E-6

お参りのマナー

宮殿では肩や膝が出る露出の多い服は控えましょう!



アユタヤ王朝のブラサート・トーン王が1632年に建てた宮殿群。歴代の国王が夏を過ごす別荘として利用され、チャクリー王朝のラーマ4世と5世が再建しました。敷地内にはパビリオンと呼ばれるさまざまな様式の5つの館が点在。美しい庭園も魅力の一つです。



3000人超もの日本人が住んだ
日タイの交流を物語る居留跡

日本人村 38

Japanese Village

16世紀初頭、アユタヤではポルトガル、イギリス、フランスなど西洋諸国をはじめ、中国、マレー、ベトナムなどアジアとの交易が盛んでした。日本との交流も例外ではなく、御朱印船貿易に携わった日本人は日本人村を築き、最盛期には2,000~3,000人以上の日本人が住んでいました。その多くはアユタヤの傭兵としてビルマ軍との戦いにも参戦したといわれています。町長・山田長政は22代ソンタム王から官位を与えられるほど大活躍しましたが1630年に憤死しました。日本の鎖国を受け、18世紀初めにこの村も消滅。現在、チャオプラヤー川の西側に重要史跡として保存され、当時を偲ぶ石碑が建っています。1990年にアユタヤ歴史研究センター別館(P9)として敷地内に資料館が設置され、徳川時代に日本が送った親書などが展示されています。別館は2007年の日タイ修好120周年を記念して大改装され、友好の歴史をより詳しく知ることができますようになりました。

料 大人50B 子供20B
開 9:30~17:00 無休
☎ 035-259-867
🌐 www.japanesevillage.org MAP 11-12



日本人村の中にある山田長政像

山田長政とアユタヤのつながり

アユタヤの日本人町の頭領となり町、日本人義勇軍のリーダーとして内戦・外征で功績を上げた長政は、ソンタム国王の信任を得て、最高の官位オークヤー・セーナビムックを授けられました。両国の親善や外交に尽力し、貿易家としても活躍しました。MAP 11-12



**日タイ交流の歴史を学ぶ
アユタヤ歴史研究センター別館**

Ayutthaya Historical Study Center Annex
本館は市内中心街に建設されたアユタヤ王朝の歴史、人々の生活をテーマにした資料館です(P9)

開 8:30~15:00 平日のみ



タイの郷土工芸の全てが分かる
バンサイ王立郷土工芸センター

The Royal Folk Arts and Crafts Center at Bang Sai

タイの郷土工芸について知りたいならぜひ訪れたい場所。バンサイ郡チャイヤイ村の4万㎡という広大な敷地内に造られたバンサイ王立郷土工芸センターでは、数々の工芸品の製作過程を見学でき、ショッピングも楽しめます。※改修工事のため閉館中(2024年9月現在閉館日未定)。

📍 59 Moo 4, Chang Yai, Bang Sai, Phra Nakhon Si Ayutthaya
☎ 035-366-252~4 📠 035-283-246~9 MAP 4



ガラス、陶磁器、かご製品
エキシビションホール

Exhibition Hall 32

王妃サポートプロジェクト「SACIT」による訓練で技術を身に付けた職人たちが作ったガラス製品、陶磁器、かご製品、織物、その他の手工芸品が4階建てのタイ式建造物の中に展示されています。またタイ各地から集められた手工芸品の数々が販売されています。MAP 4 B-5



工芸、民芸品を展示
タイビレッジ

Thai Village 34

タイ4大地方(北、東北、中、南)の伝統家屋、工芸・民芸品などを展示。タイ中央部の高床式住居、「カレー」と呼ばれる木彫りを施した屋根が特徴のタイ北部様式住居など。敷地内には湖やトロピカルガーデンもあり美しい景観も見どころの一つです。MAP 4 B-3



20部門の製作過程が見られる
**手工芸
トレーニングセンター**

Handicrafts Training Center 36

木彫り、シルク織り、陶磁器製作など手工芸の20部門で、職人が手工芸品を製作する過程を見学することができます。丁寧に細やかな技術に、思わず目がくき付けられます。MAP 4 C-4, 5



手工芸の発展を目指す施設
**タイ持続可能
美術工芸研究所**

The Sustainable Arts And Crafts Institute Of Thailand (SACIT)

SACITは、タイ国民の生活の質の向上推進、輸出におけるタイ郷土工芸の推進や改善、これらの支援の拡大といったシリキット王妃の功績をたえ、2004年8月12日王妃殿下の72歳の誕生日を祝って設立されました。タイ手工芸の管理、生産、マーケティングの推進や協力ネットワークの発展を目指しています。

開 9:00~16:00 料 無料
☎ 035-367-054~9
📠 035-367-050~1
✉ info@sacit.or.th
🌐 www.sacit.or.th/th
MAP 4 C-5



大人も子どもも楽しめる
世界のおもちゃを集めた博物館
**ミリオントイ・
ミュージアム**

Million Toy Museum 41

児童文学者・画家であり、シーナカリンウィロート大学の教授でもあるクルーク・ユンバン氏が子どもの想像力を伸ばすことを目的に造った、世界のおもちゃを集めた博物館です。日本の横浜市にある「ブリキのおもちゃ博物館」に刺激を受けた博物館内には、鉄腕アトムやウルトラマン、ドラえもん、ロボコンなど、日本人にとってもなじみ深いアニメのキャラクターも並んでいます。「100万のおもちゃ博物館」の名前の通り、館内はおもちゃで埋め尽くされています。MAP 1 C-5

開 9:00~16:00 月曜定休(祝日を除く)
📍 45 Moo 2, U-Thong Rd., Tha Wa Su Kri
☎ 035-328-949~50 🌐 www.instagram.com/milliontoymuseum

水上生活に欠かせない
タイ・ボートをコレクション
タイ船舶博物館

Thai Boat Museum 21

1994年に個人によって開設された船の博物館。水上マーケットでも知られるタイの伝統的なボート、中国様式のボートなどをコレクション。実物大から模型までさまざまなスタイルのタイの船を目にすることができます。

開 9:30~16:30 料 無料 休 月 ※事前に電話が必要
☎ 035-241-195 MAP 1 G-6

16世紀初め、御朱印船貿易に携わった日本人が築いた日本人村は、タイと日本の友好の歴史を知ることができる貴重なスポットです。2007年に敷地内に日タイ修好120周年記念館が設立され、記念の石碑には「アユチャ日本人町の跡」と記されています。



アユタヤ名物グルメ



ぷりぷり食感の川エビのグリル
クンメナムパオ

アユタヤ名物の一つが肉厚な川エビの炭火焼「クンメナムパオ」。天然の川エビは少々値が張るものの、エビみそがたっぷりであり、食感は別格のおいしさ。川沿いに川エビを提供するレストランが並んでいます。景色を堪能しながら満喫してください。



濃厚味がクセになるお米麺
クイットィアオ・ルア

クイットィアオ＝米の麺、ルア＝舟の意味。「舟そば」とも呼ばれ、昔は舟に乗った売り子が一人で売っていたので、扱いやすい小ぶりのお椀に入っています。スープの見た目も味わいも濃いのが特徴で、バジルの葉やケープムー（豚の皮の揚げ物）をのせるのが地元スタイル。



カラフルな名物スイーツ
ローティ・サーマイ

バームシュガーで作る糸の束のような柔らかくカラフルな餡（サーマイ）を米粉のクレープ生地（ローティ）に包んで食べます。サーマイとは絹糸を意味します。この地にベルシヤ人が多く住んでいた16世紀初頭に、イランの綿菓子の影響を受けてきたといわれます。

ポルトガルのお菓子をタイに伝えた日系マリー

「フォイトーン」という、卵黄を細い糸状にしてまとめたタイの伝統菓子があります。トーンとは黄金という意味で、タイの人にとって縁起のよい色。長い形状も長寿につながり、結婚式などお祝いに欠かせないお菓子として長く受け継がれています。日常にもよく食されていて、市場やスーパーから高級デザートまで、いたるところで売っている。甘くて素朴な味わいのスイーツです。アユタヤのポルトガル村に住んでいた日本とポルトガルの血を受け継ぐマリー・ギオオマル・テ・ビーニャが、アユタヤの高官と結婚し、ポルトガルのお菓子を伝えたのが始まりとされます。



マリー



フォイトーン



トーンイップ



トーンヨート

レストラン情報は
ここから

アユタヤならではのローカルフードがいくつかあります。豊かな川の恵み、昔ながらの麺料理。この地にベルシヤ（現在のイラン）人が多く住んでいた名残を伝えるお菓子など。ぜひ味わってほしい名物グルメを紹介します。



ショーや郷土料理、ショッピングを満喫
水の都アユタヤならではの観光名所

アヨタヤ水上マーケット&エレファントビレッジ 39

Ayothaya Floating Market & Elephant Village

2010年に登場した、アヨタヤ水上マーケットは、例えるなら「タイ版・三丁目の夕日」。ワット・マヘーヨンの近くに造られた人工池の周りにタイの古い街並みを再現したレトロ調のテーマパークで、施設の名称もあえて伝統的な「アヨタヤ」と付けられています。大きな池の周囲にたくさんの土産店や飲食店が軒を連ねていてショッピングに最適。水上マーケットの醍醐味、水路に浮かぶ小舟のお店から気に入った品を買うのも楽しい体験です。船で水路を遊覧するのもおすすめです。入場料無料でタイ人にも大人気。隣接のエレファントビレッジでは象に乗って遺跡見物を行うことができます。また、敷地内に造られた池の舞台では、フローティングショー、タイ伝統舞踊や迫力ある歴史パフォーマンスショーが平日は1日2回、土日祝日は1日3回にわたり開催されます。

アヨタヤ水上マーケット

料 200B (身長120cm以上)
開 9:00~18:00 無休
住 65/19 Moo 7, Phai Ling,
Phra Nakhon Si Ayutthaya
tel 035-881-733, 035-881-688
ayothayafloatingmarket.in.th/jp

アヨタヤ・エレファントビレッジ

料 20分で1人400B (入場無料)
開 8:00~17:00 無休
住 101 Moo 7, Phai Ling,
Phra Nakhon Si Ayutthaya
tel 035-881-678, 035-881-699

MAP 1 L-6



地元の人との触れ合いが楽しい
チャオプラヤー川沿いのマーケット

ゴンコン市場 40

Gong Khong Market

市場巡りを楽しむなら、ぜひゴンコン市場へ。アユタヤの中心地から南へ約11km、かつて関所があったカノーナルアンにあります。ゴンコンとは「かがむ」という意味で、軒下にすらりと並べられた商品を挟み売る方も買う方もしゃがんでやりとりをする様子を表現しています。新鮮な野菜やフルーツ、スイーツをはじめ、タイの一村一品運動のOTOP製品などが手頃な価格でそろっているので必見です。

開 9:00~16:00 (木~日、祝日)

<アクセス>

アユタヤ市街から日本人町跡を南下、ワット・バーン・レーン(Wat Ban Lane)の手前で右折、チャオプラヤー川沿い
住 68/12 Moo5, Khanon Luang, Bang Pa-in,
Phra Nakhon Si Ayutthaya
tel 035-703-700, 08-9107-8443, 08-9925-1174



クルンシー水上マーケット&
アユタヤ・ナイトマーケット 40

Krungsri Floating Market & Ayutthaya Night Market

クルンシー水上マーケットは、シーサンベト通りのアユタヤ・ツーリストセンターの近くにあり、水辺のゆったりとした雰囲気の中で、クイットィアオやパツタイ、ガイトート、スイーツなど多様なタイ料理をリーズナブルな価格で楽しめます。毎週金曜から日曜の16:00~22:00にはアユタヤナイトマーケットへと変わり、木々がこのランブシェードで装飾されるなど幻想的な風景が広がります。また、さまざまなショーやダンス、歴史劇なども披露されます。

クルンシー水上マーケット

開 9:00~17:00

アユタヤユナイトマーケット

開 16:00~21:00 (金~日)
住 Pratuchoi, Phra Nakhon Si Ayutthaya

MAP 1 D-8

タイはその昔、運河を利用した水上交通が発達していて、アユタヤも果物や野菜を積んだボートが行き交い水上のマーケットがにぎわっていました。そんな古きよき時代の光景を再現したスポットや地域の生鮮食品が並ぶ市場に足を運んでみませんか。



フアランポーン駅(旧中央駅)



1916年に竣工したバンコク最大かつ最古のターミナル駅。正式名は「バンコク駅」ですが、地域の人々には「フアランポーン駅」と呼ばれ、タイの首都バンコクの玄関口としてタイの人々や旅行者に100年以上にわたって親しまれてきました。2021年12月23日をもって全ての列車の運行を終了する予定でしたが、現在も近郊列車を中心に1日あたり数十本の列車の運行が継続しています(2024年7月現在)。
ドイツのフランクフルト駅をモデルにデザインされたドーム型の駅舎は独特の趣があり、ひと目見ようと訪れるファンが後を絶ちません。バンコク駅からアユタヤまでは約1時間半でのんびり旅を楽しみたい方の出発駅としておすすめです。

↓ 約1時間半

アユタヤ駅



クルンテープ・アピワット中央駅



2023年1月、ラーマ10世国王陛下に名付けられた「クルンテープ・アピワット中央ターミナル駅」は、東南アジア最大級のターミナル駅として稼働しています。MRT(地下鉄)ブルーライン・パンサー駅、SRT(国鉄)ダークレッドライン・パンサー駅直結とアクセスも良く、特急(SP EXP)、急行(EXP)、快速(RAP)などの高速列車はこの駅から出発します。クルンテープ・アピワット中央駅からアユタヤへは約1時間で到着します。

↓ 約1時間

チケットの購入方法

タイ国鉄の駅の窓口で直接購入するか、普通列車以外の列車の場合はオンラインチケットサイトで購入(クレジットカード決済)することも可能です。料金は等級とエアコンの有無によって変わります。例えば、クルンテープ・アピワット中央駅からアユタヤまで、3等車(エアコンなし)20B、2等(エアコンなし)61B、2等(エアコンあり)261Bと料金が異なります。オンラインで鉄道の予約の際は「Krung Thep Aphiwat」という名前で検索できます。詳しくは下記サイトでご確認ください。

🌐 dticket.railway.co.th

※購入、支払い、変更等に関するご質問はこちらへ

🌐 www.facebook.com/pr.railway

列車の等級

タイの鉄道には1等車、2等車、3等車といった等級があります。1等車が最も高額で、幅広い座席で足元もゆったりとしています。2等車もリクライニングができるクッション付きの座席。3等車は板張りベンチの座席です。エアコン付きの車両とエアコンなしの扇風機の車両があるので、エアコンの有無を確認しましょう。

**鉄道ファン必見!
蒸気機関車記念運行
イベント**

バンコクのフアランポーン駅からアユタヤ駅まで蒸気機関車が往復運行する特別な日が年に6回あります。

詳細はこちら



時刻表

バンコク → アユタヤ

車種	フアランポーン駅	クルンテープ・アピワット中央駅	アユタヤ駅
ORD	4:15	4:33	5:48
ORD	5:05	5:24	6:44
SP EXP		6:10	6:58
RAP		7:10	8:27
RAP		7:30	8:37
EXP		8:45	9:41
SP EXP		9:05	9:54
ORD	9:30	9:50	11:27
EXP		10:35	11:30
ORD	11:15	11:33	13:01
ORD	11:30	11:52	13:06
ORD	12:55	13:15	14:31
RAP		14:15	15:17
ORD	14:10	14:32	15:57
ORD	16:30	16:51	18:23
ORD	17:00	17:22	18:52
ORD	17:30	17:51	19:12
ORD	18:20	18:41	20:08
SP EXP		18:40	19:44
RAP		19:25	20:25
SP EXP		20:05	21:06
SP EXP		20:25	21:38
RAP		20:45	21:47
SP EXP		21:05	22:01
RAP		21:25	22:29
EXP		22:30	23:35
RAP		23:05	0:16

アユタヤ → バンコク

車種	アユタヤ駅	クルンテープ・アピワット中央駅	フアランポーン駅
RAP	3:06	4:10	
RAP	3:19	4:30	
SP EXP	3:41	4:50	
EXP	3:56	5:10	
RAP	4:13	5:30	
SP EXP	4:32	5:50	
SP EXP	4:53	6:10	
SP EXP	5:27	6:50	
ORD	5:06	6:26	6:50
ORD	5:45	7:12	7:35
RAP	5:49	7:10	
ORD	6:37	8:07	8:30
ORD	7:08	8:27	8:50
ORD	8:25	9:52	10:15
ORD	8:55	10:10	10:30
ORD	9:40	10:50	11:10
ORD	12:13	13:42	14:05
ORD	12:38	14:02	14:25
EXP	13:23	14:30	
EXP	15:34	16:35	
RAP	15:58	17:20	
RAP	16:36	17:55	
SP EXP	18:05	18:55	
ORD	18:47	20:15	20:35
RAP	19:14	20:25	

■ 東北線 ORD 普通 EXP 急行 2024年7月現在
■ 北線 RAP 快速 SP EXP 特急

※アユタヤへは東北線と北線が利用できます。上記時刻表は2つの路線を合算しています。
※ORDはフアランポーン駅発の列車です。

アユタヤへはタイ国鉄の北部線、東北線を利用します。バンコク最古のターミナル駅「フアランポーン駅」(正式名称:バンコク駅)は、2023年に新しく中央駅になった「クルンテープ・アピワット中央駅」(ドンムアン空港に隣接する「ドンムアン駅」などから行くことができます)。

効率よく自分で巡る! アユタヤ日帰りの旅

- 9:05 クルンテープ・アピワット中央駅発
エアコン2等特急 50分程度で到着
- 9:54 アユタヤ駅着
対岸に渡ってレンタサイクル
- 10:30 遺跡の見えるカフェでエネルギーチャージ
- 11:00 ワット・ラチャブラナ、ワット・マハタート、ワットプラシーサンベット、王宮跡、ワット・ロカヤスターラームなど遺跡巡り
- 12:30 チャオプラヤー川沿いで遺跡を眺めながらアユタヤグルメを堪能
- 14:00 ワット・チャイワッタナラームでタイ衣装を着て遺跡で撮影
- 15:30 地元銘菓のローティ・サイマイを食べる
- 16:00 レンタサイクルを返却
- 16:36 アユタヤ駅発
エアコン2等急行でバンコクへ
- 17:55 バンコク着



アユタヤ内の移動手段

※料金は目安です。

トゥクトゥク

<1時間200B~>
エンジン付きの小型三輪車。
料金は交渉制ですが1日チャーターした方が効率よく回ることができます。
アユタヤからバンパイン宮殿まで片道700B~
アユタヤからバンサイ王立郷土工芸センターまで片道900B~



レンタサイクル

<1日50B~> (6:00~18:00)
ゲストハウス、アユタヤ鉄道駅、またはチャオプラム市場などでレンタルできます。手ごろな料金と気軽さが人気です。
※P27-28のおすすめサイクリングルートを参照。



ボート

●ロングテールボート
ワット・パンチューン船着場 (MAP 11-I-10)、またはチャンカセーム船着場 (MAP 11-H-4) から国立博物館まで片道1,000B~(2~10人乗り)
●スモールボート
ファロー市場発 (MAP 11-H-4) で片道500B~(2~4人乗り)

トラム

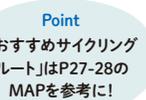
1日約7本、クルンシー水上マーケット(アユタヤ・ツーリストセンター裏)→ワット・マハタート→ワット・プラシーサンベット→クルンシー水上マーケットのルートで運航。
料無料 ☎035-242-286

たっぷり巡る! アユタヤ1泊2日の旅

※下記のモデルコースは車両が必要です

DAY 1

- 8:30 バンパインへ
▶P13-14
●バンパイン宮殿を見学
●小さなケーブルカーで川を渡り、対岸にあるワット・ニウエート・タンマブラワットまで行ってみましょう
- Point
服装には気を付けて!
- 11:00 アユタヤ着
●レンタサイクルやトゥクトゥクで遺跡巡り
- Point
「おすすめサイクリングルート」はP27-28のMAPを参考に!
- 13:00 川沿いのレストランや遺跡群付近でランチ
●アユタヤグルメを堪能
▶P18
- 14:00 アユタヤ水上マーケットへ
●象に乗って遺跡巡り体験
●屋台の地元おやつや露店の雑貨巡り
●タイマッサージ体験
▶P17
- Point
象さんへのチップも忘れずに
- 17:00 夕暮れのアユタヤ遺跡を眺めながらアフタヌーンティーor夕食
- 19:00 アユタヤ・ナイトマーケットや遺跡のライトアップを散策
- Point
ライトアップされる遺跡は各ページのライトアップマークをチェック



DAY 2

- 7:00 朝の幻想的な風景の中で朝食
- Point
朝霧にたたずむ遺跡を見られるのは宿泊ならではの醍醐味
- 9:00 遺跡巡り
1日目に行けなかった遺跡を巡りましょう!
- 11:30 セントラルアユタヤで昼食とショッピング
- Point
アユタヤらしい建築のデパート。お土産物もそろっています
- 14:00 日本人村へ
●アユタヤ歴史研究センターで日本とタイのつながりを学ぶ
▶P15
- 15:00 バンコクへ





象の背中に揺られて
アユタヤ王の気分を味わう

エレファント・ライド
Elephant Riding



アユタヤ・エレファント・パレス & ロイヤル・クラール

Ayutthaya Elephant Palace & Royal Kraal
アユタヤ歴史公園内のクン・ペーン・ハウスの向かい側にあります。象の背に揺られてアユタヤ遺跡を巡ったり、餌をやったり、ポーズを決めた象との記念撮影が楽しめます。象との触れ合いを楽しんだ後は、お土産に象グッズはいかがでしょう。ショッピングには木彫りの素朴な置物からきらびやかに飾られたものまで、象にちなんだ大小の土産物がずらりと並んでいます。

開 9:00～17:00 無休
料 15分で1人400B
Tel 035-321-982 Fax 035-242-107
www.facebook.com/elephantpalaceth



タイの伝統衣装レンタル

Dress-up in Thai Clothes
ワット・チャイワッタナラム前の通りには、タイの伝統衣装をレンタルできるお店が並んでいます。アクセサリーや傘などの小物もレンタルできるので、タイの伝統衣装に身を包み、アユタヤ王朝時代にタイムスリップした気分が観光を楽しめます。地元の人にも大人気です。

料 200B～

古代アユタヤの風に吹かれて
遺跡を颯爽と駆け抜ける

サイクリング

アユタヤ遺跡を自転車で巡ってみませんか？アユタヤは、主要な歴史的な名所や博物館が同じエリアに集中しているため、自転車での名所巡りが楽しめます。レンタル自転車はゲストハウス、アユタヤ鉄道駅、チャオプラム市場などで借りることができます。レンタル料は1日50B前後と手頃。古代の風に吹かれながらの自由な遺跡見学は格別です。

名所巡りルートは、P27-28
のおすすめサイクリング
ルートを活用ください



やっぱり楽しみたい
優雅にリラックスゴルフ

ゴルフ



ノーザン・ランシット・ゴルフクラブ

Northern Rangsit Golf Club
<18H 6,793yd P72>
造形美と戦略性を兼ね備えたハイクオリティのコース。価格はリーズナブル。

〒19/2 Moo 7, Phaholyothin Rd., Km 58, Wang Noi, Phra Nakhon Si Ayutthaya
Tel 035-744-596～7
www.northernrangsit.com/ja



ザ・ワンノイ・アユタヤ

THE WANGNOI AYUDHAYA
<18H 7,238yd P72>
すべてのホールに池が絡むアベレージゴルフ場におすすみたいコース。

〒99/1 Moo 10, Bo Ta Lo, Wang Noi, Phra Nakhon Si Ayutthaya
Tel 081-161-0041, 065-653-1591
www.thewangnoigolfcourse.com/ja



バンサイ・カントリークラブ

Bangsai Country Club
<27H>
砂が一面に広がる名物ホールが有名。フラットな地形とお得な価格が人気のコース。

〒77/7 Moo 3, Samkhok-Sena Rd., Bangplee, Bangsai, Phra Nakhon Si Ayutthaya
Tel 035-200-974
www.facebook.com/BangsaiCountryClub



アユタヤ・ゴルフクラブ

Ayutthaya Golf Club
<18H 7,095yd P72>
2008年にオープン。初心者からシングルまで楽しめる広大なコースが特徴。

〒16/2 Moo 1 Kohrien, Panakornsi
Tel 035-703-664～6
www.aygolfclub.com



ラチャクラム・ゴルフクラブ

Rachakram Golf Club
<18H 7,127yd P72>
2006年オープン。ナイター設備を完備した清潔感あふれる美しいコース。

〒84 Moo 1, Changyai, Bangsai, Phra Nakhon Si Ayutthaya
Tel 035-367-060～61
www.rachakramgolfclub.com
(タイ語・英語・日本語)

タイ・ゴルフ親善大使の
石川遼選手が語った
タイゴルフの魅力

「タイでは1人のプレーヤーに必ず専属のキャディーが付いてくれます。芝生のラインを読むのが上手で、言う通りにするととてもうまくいきます。そういう点でタイでのゴルフはとても贅沢な気分を満喫できます。また飛行機で5～6時間の移動で世界でもトップクラスのコースでプレーできるのも魅力。タイのゴルフ場の質は高く、上級者でも大いにプレーを楽しむことができるコースがたくさんあります」



ターン・ウェルネス・デスティネーション

THANN WELLNESS DESITINATION Bangsai Ayutthaya
タイの自然派スキンケアブランド、ターンが2019年バンサイ地区に造った、トータルなウェルネスを提供するラグジュアリー・スパ・デスティネーション。緑豊かな景観でのアクティビティや、栄養価の高い食事、個々に合わせたプロフェッショナルなスパ・トリートメント、ラグジュアリーな宿泊施設で身体と精神的なコンディションに向き合うことができます。

〒1,4 Moo 5, Krachaeng, Bangsai, Phra Nakhon Si Ayutthaya 13190
Tel 035-910-910
www.thannwellness.com/en



4月13日~15日

水掛けで新年を楽しく祝う
ソンクラーン祭り

Songkran Festival

別名「水掛け祭り」として有名なタイの新年を祝う行事。耕作期に十分な水の恵みを授かるようにという祈りを込めて、水を掛け合います。アユタヤでは毎年旧正月にあたる4月13日、ウィハーン・プラモンコンポビット前でイベントが行われ、大勢の人で賑わいます。観光客も気軽に参加できます。



7月

200以上のボートが川を彩る
アユタヤ・アクアティック・パンサーフェスティバル

Ayutthaya Aquatic Phansa Festival

アユタヤ県バックハイ郡のクロンラートチャドゥン川で開催される、カオ・パンサー(仏教徒の入安居)を記念するキャンドルフェスティバルの一つです。200以上もの長くカラフルなボートでキャンドルを地元の寺に運んでいきます。



12月5日

アユタヤが大歴史パークに
アユタヤ世界遺産祭り

Phra Nakhon Si Ayutthaya World Heritage Fair

1991年、アユタヤの遺跡群がユネスコ世界遺産に指定されたのが始まり。ライトアップして神秘的な光を放つワット・プラシーサンベットをはじめ、遺跡群の中でさまざまなイベントが繰り広げられます。この期間、アユタヤはまるで大歴史パークのようです。



1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

3月中旬

ムエタイ選手が集結

ワールド・ワイクルー・ムエタイ・セレモニー&ミラクル・ムエタイ・フェスティバル

World Wai Kru Muay Thai Ceremony and Miracle Muay Thai Festival

およそ200年前のアユタヤ時代の勇敢なムエタイ戦士、ナイ・カノムトムに敬意を払う儀式が3月中旬、アユタヤ歴史公園内のワット・マハタートで開催されます。ムエタイ関連のデモンストレーション、プロ、アマのムエタイファイトなど、さまざまなイベントが繰り広げられます。ムエタイ・フェスティバルは、2011年PATA(Pacific Asia Travel Association)からタイの文化を継承するイベントとして表彰されました。



11月

水面に浮かぶ幻想的な灯籠
ロイクラトン

Loi Krathong

満月の夜、クラトン(灯籠)にロウソクや花、香をのせ、罪を洗い清める伝統行事です。クラトンの美しさを競うコンテストやバンサイ地方の工芸の実演、展示などイベントも多彩です。



タイの人々にとって、仏教と王室は生活に深く浸透し、なくてはならない存在。それらに関する祭りや祝日が多いのが特徴です。伝統的な儀式から賑やかなイベントまで、観光客も気軽に参加して楽しめるのも魅力です。

旅の基礎知識 Information

気候

年間の平均気温が約29℃の暖かな国、タイ。季節は乾期(11~2月)、暑期(3~5月)、雨期<グリーンシーズン>(6~10月)の3シーズンに分けられます。乾期は降雨も少なく空は青く晴れ渡り、気温も心地よく観光に最も適したシーズンです。雨期はモンスーンの影響を受けやすく天候が不安定になり、1日1回程度スコールが降ります。いずれの季節も最高気温が30度を超す熱帯に属し、一年を通して日差しが強いのが特徴です。

服装

一年を通して高温多湿の気候なので通気性の高い衣類や帽子、サンングラスなどの用意を忘れずに。ただしレストランやホテルなどではエアコンが効き過ぎている場合があるので注意してください。また朝晩は15℃を下回るなど冷え込むこともあるので、薄手の上着などを用意することをおすすめします。敬虔な仏教国であるタイでは、寺院は神聖な信仰の場所です。参拝するときはタンクトップ、ホットパンツ、ミニスカートなど露出度が高い服装は避け、節度ある格好を心掛けてください。

時差

日本との時差はマイナス2時間。日本の正午がタイの10:00になります。サマータイムはありません。

飲み水

水道水などは避けること。飲料水を購入してください。

電気

電圧は交流220V(50Hz)でプラグはA、BF、Cタイプ。
※現在、主要都市のほとんどのホテルが日本と同じAタイプに対応しています。



チップ

ホテルではボータマーやハウスキーパーへのチップとして20B程度を準備してください。またサービス料を含まないレストランで食事をした場合は代金の10%を目安にチップを渡しましょう。

喫煙マナー

レストランを含む冷房の効いた施設内ではスモキングエリアを除き禁煙となっています。違反は2,000Bの罰金。またバンコクをはじめ国内の都市部では路上へのタバコの吸殻やゴミのポイ捨て、ツバを吐くことも処罰の対象で最高2,000Bの罰金となっています。また、タイ国内の主要な空港では全面禁煙となっています。

空港からのアクセス

スワンナプーム国際空港から市内への交通手段は、エアポートレイルリンク、タクシー、エアポートバスがあります。ドンムアン国際空港からは、SRTダークレッドライン、タクシー、エアポートバス、国鉄が利用できます。いずれの空港も、配車アプリを利用されるのも便利です。

禁製薬品

麻薬、猥褻物、肉製品、一部の果物・野菜・植物、知的財産侵害物品等。

免税範囲

- タバコ:紙巻は200本(1カートン)、紙巻含む葉巻などは総重量250g以内 ※電子タバコ持ち込みは禁止されています。違反した場合には、10年以下の懲役または50万Bの罰金のいずれかが科せられます。
- 酒類:1人1本(1ℓ)まで ※タバコと酒類は他人の分を1人で持っているだけでも没収、罰金の対象となります。
- その他:カメラ、ビデオカメラは各1台
詳細は www.anzen.mofa.go.jp または www.customs.go.th で確認を。関税・税金一般に関するお問い合わせは、在京タイ王国大使館経済財政部へ。☎03-6721-9842

乗り継ぎの場合の「液体物免税品」購入の注意

国際線から国内線へ乗り継ぐ場合、日本の空港の免税店や機内で購入した液体物の免税品(飲料類、クリーム・ローション・オイル類、口紅、マスカラ、香水、スプレー、シャンプー類、シェービングフォーム、防臭剤等のエアゾール類、歯磨き粉等の練り状物、半固形物など)は制限エリア外で購入した商品と同等に扱われる(日本では、免税品用の特別包装でないと開封済みと見なされる)ことから、乗り継ぎ空港での検査場にて、没収・罰金の対象となりますのでご注意ください。経由便でタイに到着する場合も同様です。

両替・銀行

タイ・バーツ(Baht)は変動相場制をとっているため、両替率が毎日変化します(2024年9月現在1BAHT=約4.3円)。スワンナプーム国際空港内の各銀行両替所は24時間営業で、市内の銀行は月~金曜の10:00~15:00、観光地など市街にある出張両替所は8:30~20:00ごろまで開いています。

VAT 買い物の戻し税 (VAT)



タイへの旅行者は、タイ国内において同日同一店で購入した合計2,000B以上の買い物について7%の税金(Value-Added Tax)分を帰国時に空港で払い戻してもらうことができます。払い戻しを受けるためには「VAT REFUND FOR TOURISTS」の表示店で購入し、購入時に必要事項を書類に記入します。空港のVAT窓口でチェックイン前にその書類で申請を。詳しくはタイ国政府観光庁日本語ホームページで確認を。
*上記のマークのあるショップで購入ください。 ☎www.rd.go.th/vrt

パスポートとビザ

日本国籍でタイ入国後60日(59泊60日)以内の観光目的の滞在の場合、FIXの往復航空券を所持していればビザ無しで入国することができますが、国際規定によりパスポートの残存期間はタイ入国時に6カ月以上と推奨されています。空路での入国は60日、また隣国より陸路での入国は60日の滞在が可能です(年2回まで。入国管理局の判断により90日間の滞在許可が下りない場合もあります)。60日以上滞在を予定されている方、あるいは観光目的以外で入国される方は、事前にタイ王国大使館、領事館でビザを取得してください。また各航空公司によりパスポート残存期間の規定が異なります。利用前に航空公司にお問い合わせください。

在京タイ王国大使館 領事部(ビザ)
☎090-2529-7787 ☎www.thaiembassy.jp

タイ王国大阪総領事
☎06-6262-9226 ☎www.thaiconsulate.jp

在福岡タイ王国総領事館 領事部
☎092-739-9090 ☎fukuoka.thaiembassy.org/jp/index
大使館・領事館 電話対応時間 15:30~17:30

いざというときに

病院 (英語可)

高温多湿の気候条件や食習慣の違い、また旅先での緊張や疲れなどで体調が崩れたときは迷わず病院へ。海外旅行保険に加入している場合は、証券原本を持参してください。

プラーナコンシー・アユタヤ病院

Phra Nakhon Si Ayutthaya Hospital
☎46/1 Moo 4, Uthong Rd., Pratuchoi, Phra Nakhon Si Ayutthaya
☎035-211-888

ラチャタニ病院

Rajthanee Hospital
☎111 Moo 3, khlong Suan Phlu, Phra Nakhon Si Ayutthaya
☎035-335-555~71

ツーリスト・ポリス

外国人観光客の援護を専門にしている警察の部署で、トラブルに英語で対処してくれるのが特徴です。警官は「Tourist Police」という肩章が目印です。

アユタヤ・ツーリスト・ポリス

☎Sisanphet Rd., Pratuchoi, Phra Nakhon Si Ayutthaya
☎035-241-446、035-243-444

ポリス・ステーション

☎Pa Thon Rd., Pratuchoi, Phra Nakhon Si Ayutthaya 191
☎0-3524-1591-4

ツーリスト・ポリスセンター

局番なし「1155」
☎touristpolice.go.th/en

注意事項

- 日本語や英語が上手な見知らぬ人が近寄ってきて、うまい話、儲け話を持ちかけてきても誘いにのらないこと。語学学校の教師や大学講師、留学生、ビジネスマン、警官などきちんとした身なりや肩書をつけて近づいてくるので注意をしましょう。
- 曖昧な返事や答え方はトラブルの原因になります。断るときははっきりと「NO」と言いましょう。
- 人通りが多い地域・場所では貴重品等に気を付けるようにしましょう。
- 優良店はしつこい客引き等はしません。また政府が協賛している宝飾品店はありません。
- 高価な商品を購入するときは、必ず領収書や保証書の書類に店名、住所、電話番号、購入日等が記載されているか確認し、また持ち帰った後も大事に保管しましょう。万が一、苦情申し立てのときに口頭での約束、やりとりでは証拠不十分扱いになります。
- 現地で起きた被害や事件は、必ず現地の警察、ツーリスト・ポリスに被害届けや報告書の手続きをしてください。日本に帰国してから被害届等の発行はできません。
- タイ国政府観光庁および政府機関は、皆さまの購入品に対して返品や返金を店側に強制すること、および義務を負うことは一切ありません。

在タイ日本国大使館領事部 (バンコク)

☎177 Witthayu Rd., Lumpini, Pathum Wan, Bangkok 10330
☎02-207-8500、02-696-3000(代表)
日本大使館 ☎www.th.emb-japan.go.jp
邦人支援課 ☎02-207-8502

イミグレーション (入国管理局)

ビザ延長・更新などは入国管理局へ。
☎Government Center ChaengWattana Building B, Nr.120 Moo3, ChaengWattana Rd., Soi7, Tung Song Hong Subdistrict, Laksi, Bangkok 10210
☎02-287-3101~10
☎www.immigration.go.th/index

その他

警察 局番なし「191」
火事 局番なし「199」

電話番号システム

タイ国内で電話をかける場合

市内、市外を問わず0から始まる9ケタの数字を(携帯電話は10ケタ)押してください。

日本からタイへ電話をかける場合

66(タイの国番号)+0(を除いた)8ケタの数字を押してください。

タイから日本へ電話をかける場合

001など(国際電話認識番号)+81(日本の国番号)+相手先の電話番号(一般及び携帯電話番号の頭の0を除く)を押してください。

